

日本空調グループ

日本空調サービス(株)

本社・支店・営業所: 65拠点

グループ会社

国内5社: 17拠点

海外8社: 10拠点(6カ国)

- 日本空調サービス(株)
- 日本空調システム(株)
- (株)日本空調北陸
- (株)日本空調東北
- 日空ビジネスサービス(株)
- イーテック・ジャパン(株)

- 蘇州日空山陽機電技術有限公司
- 上海日空山陽国際貿易有限公司
- NACS BD Co., Ltd.
- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- NACS Singapore Pte. Ltd.
- NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.
- NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.
- NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.

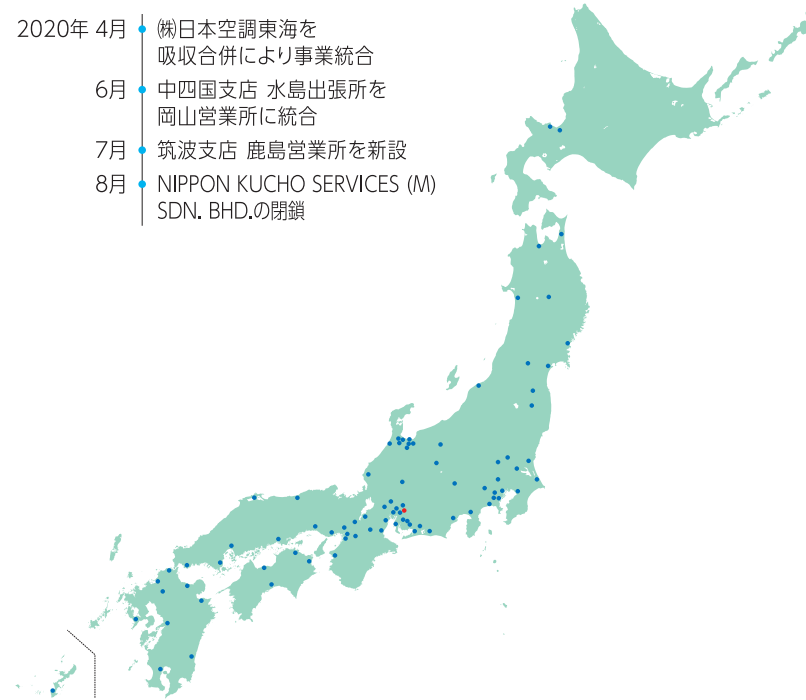
www.nikku.co.jp

〈免責事項〉 本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。



拠点網の動向

- 2020年4月 ● (株)日本空調東海を吸収合併により事業統合
- 6月 ● 中四国支店 水島出張所を岡山営業所に統合
- 7月 ● 筑波支店 鹿島営業所を新設
- 8月 ● NIPPON KUCHO SERVICES (M) SDN. BHD.の閉鎖



※拠点情報につきましては、2020年10月31日現在で表記しております。



日本空調サービス株式会社

証券コード: 4658

今日をきれいにする。
明日のために。

株主の皆様へ

第58期 上半期報告書

2020年4月1日～9月30日



日本空調グループ 経営理念

お客様に安心感を与える
最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、
高品質サービスを提供する。

全社員が一丸となって経営理念を共有し、
お客様の満足度のより一層の向上を追求
しております。

これからも、建物設備のメンテナンスサー
ビスを通じて、建築物に要求される最適な環
境を実現する「環境創生企業」として社会
に貢献することが、私たち日本空調グルー
プの使命であると考えております。



社外取締役 田中 登志男 × 社外取締役 東本 強
「新任社外取締役インタビュー」
更なる企業価値向上に向けて

今回は、2020年6月19日付で新たに日本空調サービス(株)社外
取締役役に就任したお二方に、「当社に対する印象」及び「自身が
果たしていきたい役割」等についてインタビューを実施いたしました。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
連結業績ハイライト	3
Special Interview	5
今後の株主還元方針	8
会社情報	9

事業活動を通じて社会的価値を創出し、
全てのステークホルダーの幸せを
追求してまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々及び
関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、
医療関係者をはじめとする感染防止に
ご尽力されている皆様に心より感謝申し上げます。

ここに当社2021年3月期上半期
(2020年4月1日から2020年9月30日)における
営業の概況ならびに決算の内容等につきまして
ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、
今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、
お願い申し上げます。

2020年11月
代表取締役社長 田中 洋二



2021年3月期上半期の連結業績

当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、状況に応じた感染症
防止対策を講じつつ、当社のノウハウを活かした「設備及び環境診断・評価」「ソリューション提案(省エネ・
省コスト提案、環境改善提案)」を通じてお客様の潜在ニーズの掘り起こしに努め、新規物件の獲得や既存
契約の維持に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い工場等一部施設への入場が制限され、メンテナンス及び工事
業務が延期となったことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は**21,755百万円**(前年同期比**7.5%減**)
となりました。利益面につきましても、新型コロナウイルスの感染防止対策費用や当社グループの病院現場
従事者に対して慰労金を支給したことなどにより、営業利益は**1,048百万円**(同**35.5%減**)、経常利益は
1,102百万円(同**35.4%減**)、親会社株主に帰属する四半期純利益は**628百万円**(同**41.7%減**)となりました。

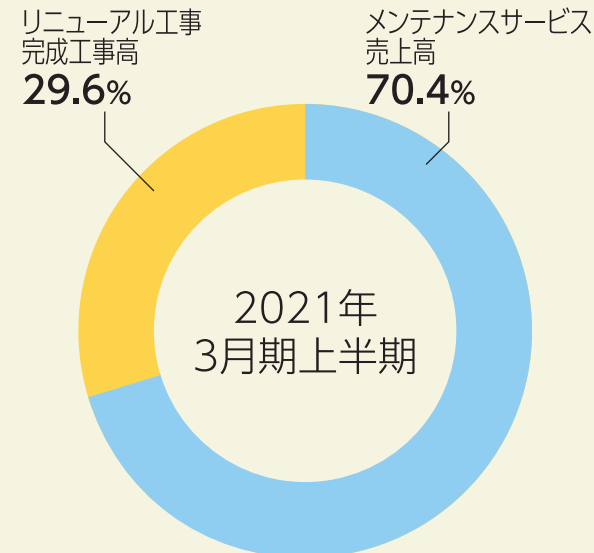
詳細な財務情報は、当社Webサイト www.nikku.co.jp 掲載の**決算短信**をご覧ください。

[トップページ](#) ▶ [投資家情報](#) ▶ [IRライブラリ](#)

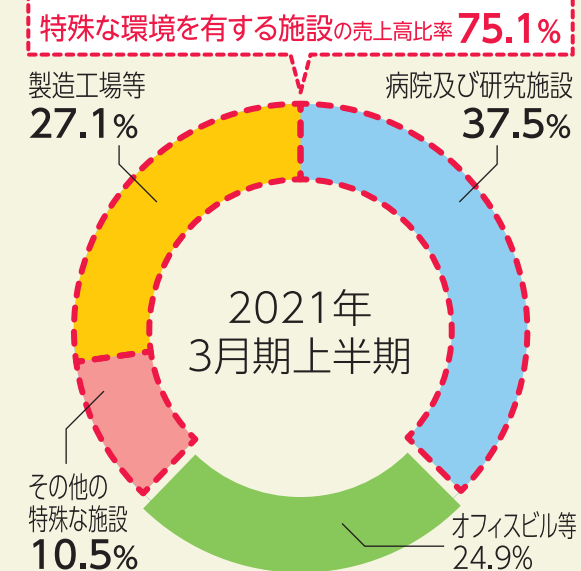


	2020年3月期上半期	2021年3月期上半期
売上高	23,521 百万円	21,755 百万円 7.5% 減
営業利益	1,624 百万円	1,048 百万円 35.5% 減
経常利益	1,705 百万円	1,102 百万円 35.4% 減
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,077 百万円	628 百万円 41.7% 減

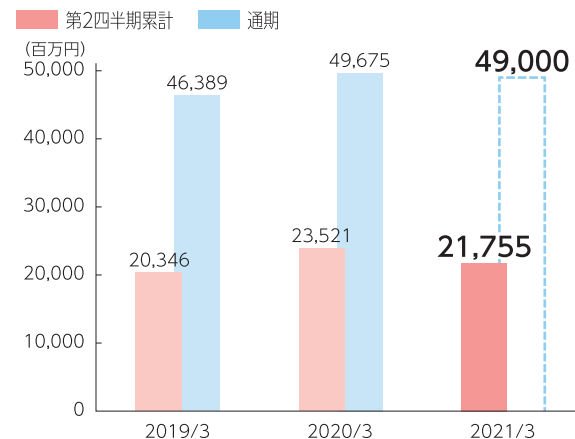
種類別売上高構成



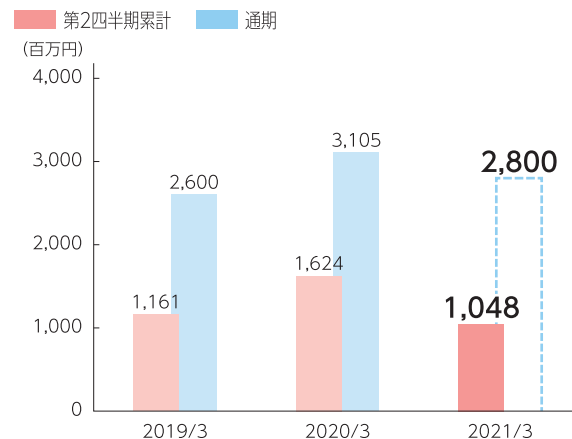
受託施設別売上高構成



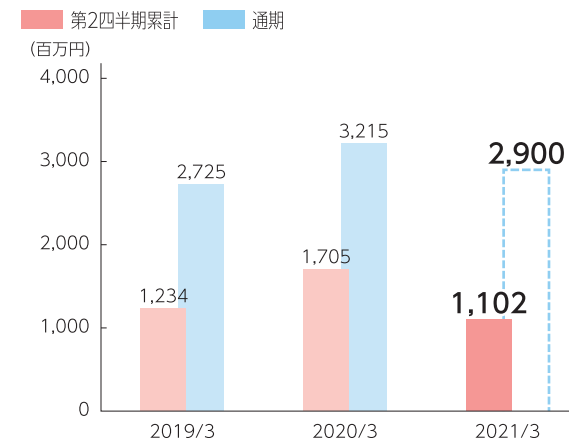
売上高



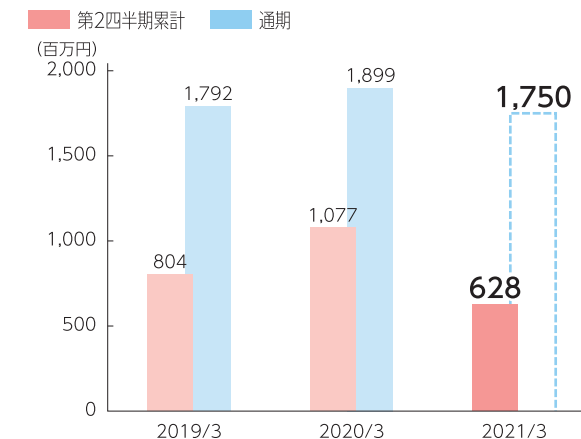
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



更なる企業価値向上に向けて

1
社外取締役に就任して約4ヶ月が経過しましたが、日本空調サービスの社風についてどのように感じられていますか。

田中:社風としては、「真面目で実直な会社」であると感じました。社外取締役就任後、この約4ヶ月間は当社の取締役会をはじめ、いくつかの会議に出席し、コーポレート・ガバナンスがきちんと整備・運用されているかを見てまいりましたが、コーポレート・ガバナンスコードに沿った整備状況は良好であり、取締役会等で率直な対話が行われている状況から、誠実にガバナンスを整備・運用しようとする経営層の意欲を感じました。

今後、3ヵ月間ほど掛けて全国の当社支店・部・グループ会社を訪問し、当社グループについて更に理解を深め、社外取締役として、ステークホルダーの立場から指摘・提言をすることで経営の監督を行ってまいります。

東本:社外取締役就任の前に、まず当社グループの経営理念や社是を確認しました。その際、一番印象に残ったのは、社是の「〈努力〉我々は秀才ではない 努力こそ秀才の道である」「〈根性〉根性なきものは去れ」という部分でした。その硬派な主旨に少し驚くとともに、私も昭和生まれの人間として共感を覚えたものでした。

その後、名古屋市名東区にある本社で業務が始まりましたが、社是の硬いイメージとは異なり、非常に穏やかで親しみやすい雰囲気の会社でした。取締役会へも出席しましたが、私のような外部の人間の意見に対して非常に寛容な雰囲気があるので、社外取締役としては積極的に発言しやすい環境であると感じました。

profile

1954年1月22日生まれ。	1987年 7月 東陽監査法人職員登録
1983年10月 等松・青木監査法人 (現:有限責任監査法人トーマツ)入社	1987年12月 税理士登録
1987年 3月 公認会計士登録	2007年 1月 税理士法人アイオン代表社員(現任)
1987年 6月 同社退社	2007年 9月 東陽監査法人代表社員
	2016年 8月 東陽監査法人代表社員退任



社外取締役
田中 登志男

私が最初に想起した硬派さは、恐らく高度経済成長期の日本で当社の創業時に醸成されたもので、それが今も組織風土として内在しており、今現在感じる穏やかな雰囲気は、昭和・平成・令和という時代の流れと共に変遷してきた組織文化であると理解しました。

2
これまでお二方はどのようなご経験を積み重ねてこられましたか。

田中:私は、工学系の大学院修了後、3年間、大手メーカーの研究所に勤務し、短いながらも企業人として貴重な経験をさせていただきました。その後、家業の会計事務所引継ぎのため、公認会計士に転職し、30年以上に渡り、監査法人で監査業務に従事し、一方で税理士として税務業務にも従事してまいりました。

この間、多岐に渡る企業の成長や衰退の様相を目の当たりにするとともに、組織再編・事業再生の課題等にも直面し、経営者の課題解決の一助となるよう努めてまいりました。また、企業不正や民事再生に直面したこともあり、こうした経験から、企業の持続的成長のためには、まず、良く練られた経営理念と経営戦略、きちんと整備さ

profile

1962年8月31日生まれ。
1989年4月 三菱重工工業株式会社入社
2012年3月 同社退社
2017年3月 京都大学経営管理大学院修了(MBA取得)

れたコーポレート・ガバナンスとこれを支える良き企業文化が重要であると感じました。

東本:私自身は長年に渡り、主にアジア圏のインフラ建設のアドミニストレーションマネージャー*として業務に携わってきました。案件を受注すると真っ先に海外現地に乗り込み、組織を立ち上げて、工事が完了すれば撤収するというプロジェクトの一連の流れの中で、Uniqueness(唯一無二)、Complexity(複雑性)、Uncertainty(不確実性)という建設工事の基本原則を学び、その後の私の指針となっています。

インフラプロジェクトは、通常は人の目に触れない所で進められますが、私が担当したものの中ではひとつ例外があります。それは日本が誇る新幹線を初めて海外に輸出した「台湾新幹線プロジェクト」です。今でも当時の苦労や関わった方々のことを思い出すと感慨深いです。書籍化・ドラマ化もされていますので、ご興味のある方はぜひチェックしてみてください。

*海外現地で業者との折衝・調整業務や人事総務・財務経理事務等を行う管理・運営部門の責任者。



社外取締役
東本 強

3

そのご経験・専門性を日本空調グループの持続的成長のためにどう活かしていきたいとお考えですか。

田中: 前頁で述べた様々な経験・知識をもとに、コンプライアンスの強化、適切な経営判断に資する助言、指導を行ってまいります。そのためにまずは、大局的に当社を見た上で、気になる点は納得のいくまで追求し、状況を把握することが重要であると考えています。

具体的には、重要な会議に参加することはもちろん、全国の支店・部・グループ会社を巡り、できるだけ多くの従業員・役員の話聞き、それを糧として、社内からは見えづらい部分や課題等について社外の広い視点から意見を申し上げることで、企業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応できるガバナンス体制づくりを後押ししていきたいと思っております。

東本: 私は全く別の業界の出身であり、それ故に「独立性」が確保されているのですが、実は当社が生業とする保守・管理・設計・施工という仕事と、私の業務経験には共通点も多く、その意味で持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与するような役割・責務を果たせるのではないかと考えています。

また、当社の取締役会は様々な経験と専門性を備えた複数のメンバーで構成され、バランスの取れた判断ができる組織となっており、私の場合は特に海外事業の展開に寄与する助言を行いたいと思っております。

4

最後に、株主の皆様へ向けてのメッセージをお願いいたします。

田中: 日本空調グループのビジネスモデルは、特殊な環境を有する施設の設備管理というニッチな領域に特化しながら、堅実に成長することを目指しており、また、事業を通じて社会的課題を解決することで新たな社会的価値を生み出し、それを経済的価値に転換することであらゆるステークホルダーの幸せを向上させるというビジョンを持っています。これを実現させるために、幅広い目線で当社の経営に携り、社外取締役としての役割を果たしていく所存であります。

東本: 当社はメディア等に社名が頻繁に登場するような派手さはありませんが、「お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する」という経営理念の実現に向けて実直に努力する会社であることは間違いありません。私もその一員として微力ながら貢献すべく努力してまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

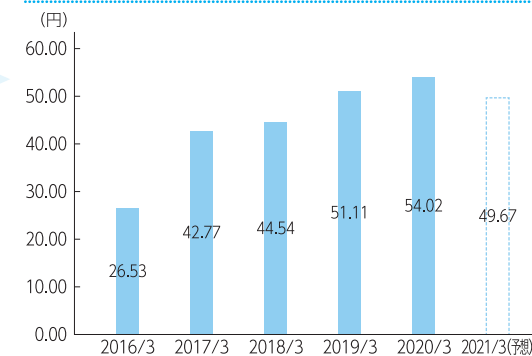


当社グループは、“1株当たり当期純利益(EPS)”を重要な指標と捉え、2024年3月期に**54円**とすることを目標に取り組みでまいります。

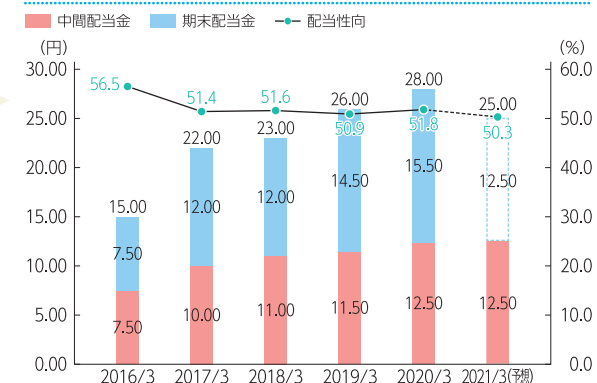
利益還元の基本方針につきましては、現在進行中の「2019中期5ヵ年経営計画」の実現を通して、配当の原資となる利益を継続的に向上させるとともに、連結配当性向**50%**を維持してまいります。

2021年3月期の配当につきましては、中間配当を1株につき**12円50銭**とさせていただきます。また、期末配当につきましては**12円50銭**の予想としております。これにより、2021年3月期の年間配当金は1株につき**25円**(連結配当性向**50.3%**)とさせていただきます。予定です。

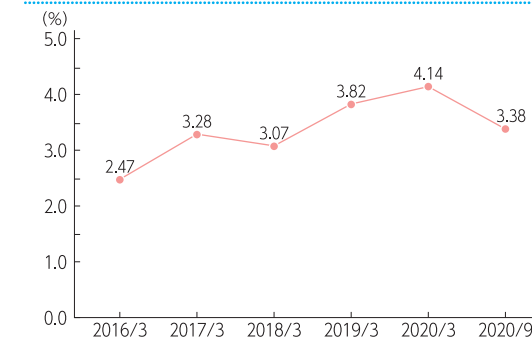
1株当たり当期純利益



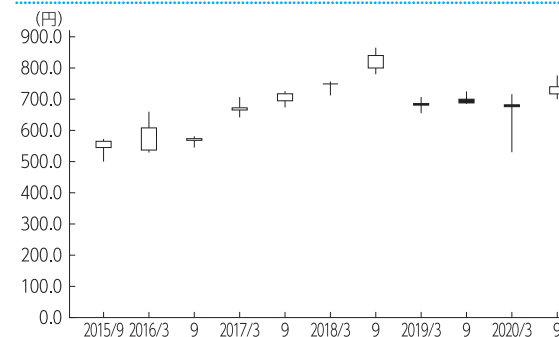
1株当たり配当金・配当性向



配当利回り



株価



※2016年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 ※2016年3月期以前の1株当たり当期純利益及び配当金の額、株価につきましては、上記株式分割を調整した金額としております。
 ※2020年9月末の配当利回りにつきましては、2021年3月期の1株当たり配当金(予想)で算出しております。

会社概要

- 商号 日本空調サービス株式会社
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.
- 住所 〒465-0042
愛知県名古屋市名東区照が丘239番2
- TEL 052-773-2511 (代表)
- 設立 1964年(昭和39年)4月28日
- 資本金 1,139,575千円
- 事業内容 総合建物設備メンテナンスサービス業
- 従業員数 1,377名

役員

取締役	
代表取締役社長	田中洋二
取締役	草野幸士
取締役	中村秀一
取締役	渡邊一彦
取締役	中町博司
取締役	室谷敏彰
取締役	田中登志男
取締役	東本強

監査役	
常勤監査役	小林正博
監査役	渡邊資史
監査役	佐伯典久
監査役	寺澤実

執行役員	
執行役員	中司等
執行役員	草野幸士
執行役員	依藤敏明
執行役員	松本恒臣
執行役員	首藤健
執行役員	松井正
執行役員	渡邊一彦
執行役員	南清司
執行役員	諏訪雅人
執行役員	白石一彦
執行役員	横井智明

- (注) 1. 取締役 草野幸士及び渡邊一彦は、執行役員を兼務しております。
 2. 取締役 田中登志男氏及び東本強氏は、社外取締役です。
 3. 取締役 田中登志男氏及び東本強氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。
 4. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、社外監査役です。
 5. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

株式情報

(2020年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 72,000,000株
- 発行済株式総数 35,784,000株
- 株主数 6,829名
- 大株主の状況

株主名	持株数(千株)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,949
日本空調サービス従業員持株会	2,464
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,416
株式会社三菱UFJ銀行	1,640
株式会社愛知銀行	1,336
東京海上日動火災保険株式会社	1,128
重田康光	1,003
岐阜信用金庫	800
K I A F U N D 1 3 6	708
岡地修	578

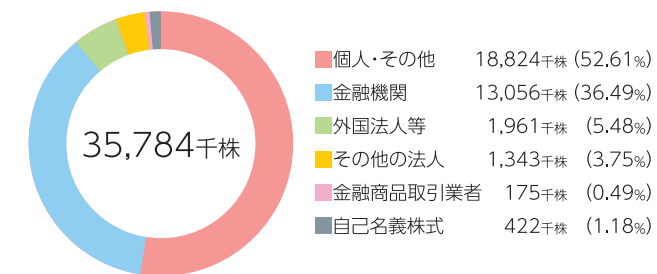
※当社は自己株式(422千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京証券取引所、名古屋証券取引所
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL www.nikku.co.jp (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

- 株主メモ
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式分布状況



株主数推移(自己・機構名義含む)

